

社会福祉調査の基礎

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 三宮 基裕

■使用テキスト

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集
『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座5 社会福祉調査の基礎』
中央法規出版 2021

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

講義概要：社会調査の意義や歴史の変遷、調査を実施するための具体的方法や実施するうえで配慮すべき点などについて学び、社会調査の基礎を修得する。

一般目標：社会調査の意義と歴史の変遷、関連法律、調査・研究者としての倫理を理解するとともに、量的研究と質的研究という二つの研究方法の概要、実際の手続き、それぞれの長所と短所を修得し、社会調査が実践できるようになる。DP (1) (4)

到達目標

- 1) 量的研究と質的研究の違いを説明できる
- 2) 標本抽出と母集団との関係について理解し、抽出法の特徴が説明できる
- 3) 調査票作成上の留意点について学び、適切な調査票が作成できる
- 4) 量的・質的データの収集方法を説明できる
- 5) 量的・質的データの分析方法が説明できる
- 6) 個人情報の取り扱い方法、研究倫理について学び、それを説明できる。

評価方法

科目単位認定試験により評価する。

学習指導

第1章 社会福祉調査の意義と目的

この章のポイント

- ・社会福祉調査の意義と目的を理解する
- ・ソーシャルワーク実践と社会福祉調査の関係について理解する
- ・社会福祉調査の歴史を理解する
- ・統計法の概要を理解する

第2章 社会福祉調査における倫理と個人情報保護

この章のポイント

- ・調査倫理や個人情報保護の考え方を理解する

第3章 社会福祉調査のデザイン

この章のポイント

- ・演繹法的方向性と帰納法的方向性の違いを理解する
- ・社会福祉調査のプロセスを理解する
- ・調査計画書の内容を理解する
- ・社会福祉調査対象の分析範囲と標本抽出（サンプリング）を理解する

第4章 量的調査の方法

この章のポイント

- ・量的調査の目的を理解する
- ・量的調査の方法と標本抽出の代表性を理解する
- ・質問紙の作成方法と留意点を理解する
- ・質問紙の配布・回収方法の特徴を理解する
- ・量的調査により得られたデータの集計・分析方法を理解する

第5章 質的調査の方法

この章のポイント

- ・質的調査の目的を理解する
- ・質的調査の方法と標本抽出の特徴を理解する
- ・質的調査で得られるデータの記録方法と留意点を理解する
- ・質的調査により得られたデータの集計・分析方法を理解する

第6章 ソーシャルワークにおける評価

この章のポイント

- ・ミクロ・メゾ・マクロレベルの評価を理解する
- ・根拠に基づく実践とナラティブに基づく実践を理解する
- ・ソーシャルワークにおける評価の対象と評価の種類を理解する
- ・量的・質的評価方法について理解する